【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成17年6月2日(2005.6.2)

【公開番号】特開2003-167766(P2003-167766A)
【公開日】平成15年6月13日(2003.6.13)
【出願番号】特願2001-365208(P2001-365208)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０６Ｆ　12/00
【ＦＩ】
　Ｇ０６Ｆ　12/00　　５２０Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成16年8月9日(2004.8.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　電子データを管理する電子データ管理システムにおいて、
　電子データの入力および／または編集を行うデータ入力編集手段と、
　上記データ入力編集手段で入力および／または編集された上記電子データを記憶する第１の記憶手段と、
　上記第１の記憶手段に記憶された上記電子データの状態を示す状態情報を該電子データに関連付けて記憶する第２の記憶手段と
を備えることを特徴とする電子データ管理システム。
【請求項２】
　請求項１に記載の電子データ管理システムにおいて、
　上記第２の記憶手段に記憶された上記状態情報に基づき、上記第１の記憶手段に記憶された該状態情報に対応する上記電子データの出力を制御する出力制御手段をさらに備えることを特徴とする電子データ管理システム。
【請求項３】
　請求項１に記載の電子データ管理システムにおいて、
　上記第２の記憶手段に記憶された上記状態情報に対して統計処理を施す統計処理手段をさらに備えることを特徴とする電子データ管理システム。
【請求項４】
　請求項３に記載の電子データ管理システムにおいて、
　上記統計処理手段による上記統計処理は、所定の期間毎に自動的に行われ、結果出力されることを特徴とする電子データ管理システム。
【請求項５】
　請求項３に記載の電子データ管理システムにおいて、
　上記統計処理手段による統計処理結果に基づき、該統計処理結果が予め定められた閾値を越えているときに、その旨が自動的に通知されるようにしたことを特徴とする電子データ管理システム。
【請求項６】
　請求項１に記載の電子データ管理システムにおいて、
　上記電子データの状態は、少なくとも上記電子データの編集中、使用中および完了をそれぞれ表す３の状態であることを特徴とする電子データ管理システム。

【請求項７】
電子データを管理する電子データ管理方法において、
電子データの入力および／または編集を行うデータ入力編集のステップと、
上記データ入力編集のステップで入力および／または編集された上記電子データを第１の記憶手段に記憶するステップと、
上記第１の記憶手段に記憶された上記電子データの状態を示す状態情報を該電子データに関連付けて第２の記憶手段に記憶するステップと
を備えることを特徴とする電子データ管理方法。